



そこが知りたいQ&A



さくら幼稚園のうわさ、まちの声、親の不安……

Q さくら幼稚園のいろいろなうわさは市内でよく聞きますが…？

実際子どもを通園させた方々の話題が広がっていくからだと思います。お家の方が撮られた行事のビデオなど見せられて入園を希望される方もありますし、園で作成する園生活の記録DVDをご覧になられた方もいらっしゃると思います。通園バス区域外から入園される方の中には、わざわざ自家用車で送迎される方もあります。また、希望と創造の学び場という幼稚園卒園児を中心としたサークル的活動も行なっていますので、地域のイベントなどで目にしたり、耳にしたりされることも多いかと思います。

幼稚園という枠にとらわれず、広く地域社会の中で、さくら学園としてさまざまな社会体験活動に参加していることが話題になり、認められてきたのだと思います。

関連する子育て支援施設や活動及びサークル的活動を下記に紹介いたします。



『わかばコース』… 幼稚園降園後の預り保育を、花卉園のさくらんぼ園園舎を利用して行っており、夕方お家の人を迎えに来るまでの時間を、伸び伸びと過ごしています。「幼稚園に通わせたいけど、保育園でなければ…」という方も、安心して幼稚園に通わせることが出来ます。土曜日・春・夏・冬休み期間も行っています。

『みどりご園』は、16年4月から宮城県の認可保育所となり、現在は定員が100名になり、0歳から6歳までの保育（養護と教育）を行っています。特に3歳から就学前の年齢児はさくら幼稚園と同じように“教育”面にも力を入れて、園児や教職員の交流もしております。

『幼稚園開放日』は、幼稚園入園前2・3歳児対象のにこにこくらぶと0・1歳児対象のおひさまひろばがあります。すっかり定着して、毎回10組以上の親子連れが参加しています。いつでも参加できますので、学園事務所に問い合わせください。


『さくらんぼ園』は、さくら幼稚園付属の認可外保育施設です。入園前の1～3歳児の保育を行ってきましたが、26年度から保育の内容が変わります。[26年2月に要項配布予定]

『登米春嵐太鼓』は、さくら幼稚園・みどりご園を卒園した小中学生を中心に結成し活動しています。市内のイベントはもとより、県外や関東でのイベントにも招待されるようになりました。指導は学園職員が週2回のペースで練習を行い 約30名が活躍しています。

『課外教室』は、さくら幼稚園降園後の放課後を利用して行っている教室です。**幼児体育教室****英語教室**・**バイオリン教室**があり、幼稚園で経験したことや学んだことを小学校に行っても継続できるのが大きな特長です。

『希望と創造の学び場』は、さくら幼稚園・みどりご園卒園児のための活動を行っています。春のピクニック、文化箏グループ、踊り&よさこいグループなど、地域のイベント参加や交流を目的に少人数ですが、継続的に活動しています。

A

Q	さくら幼稚園は行事が多くてたいへんと聞きましたが...?
A	<p>幼稚園に足を運んでいただく行事は多いです。いま家庭は、子供やお孫さんのイベントに皆が集まる…それが楽しみだという風になってきています。さくら幼稚園の大きな行事には、パパママのそれぞれのご両親と一緒に参加されたり、年3回の幼老交流行事には、県外から駆けつけて頂いたり、「行事には参加しないと...という義務感より、参加できることを楽しみたい。」という家庭が増えています。また自由参観日も年に1週間設けており、行事だけでなく普段の園児の活動の様子を見ていただける日も増やしました。さくら幼稚園の行事は楽しいですよ～!</p> 
Q	さくら幼稚園の補食ってなに...?
A	<p>教育活動の5本の柱の中に『食教育』を掲げています。お母さんが作るお弁当は、幼稚園児はとても楽しみにしています。お弁当は子供が好きなものを中心に、補食は多種類の野菜をバランスよくみそ汁にして食べさせたいという、家庭や園の願いを込めて食の教育を進めています。</p> <p>更に、お米をしっかり食べようということで、月・水・金曜日の補食の日は、おにぎりだけで十分な献立にしています。1か月に1回程度はパン給食の日もあり、この日は地元ベーカリーの焼き立てパンが出ます。また、電動かき氷機2台・ドン菓子機・焼き芋専用機があり、活動の中で食教育に役立てています。季節に合わせてのかき氷やドン菓子や焼き芋に子どもたちは大喜びです。クッキングの活動も学年に合わせて、積極的に行っています。食べることは生きること、という食の原点を幼児期の体験活動の中で学べるように食教育を進めています。</p>
Q	英語や漢字教育をしているってホント...?
A	<p>家族の方が、愛情込めて付けた名前の漢字をわかることができたらいいな、というのがきっかけで、漢字の名前カードを作って、フラッシュカード風にして出欠確認を行なっています。幼児は、漢字を形として認識できる能力があります。ですから、お友達の名前も覚えてしまうことが出来ます。漢字カードで出欠を取る時間は5分前後ですが、いつ自分の名前が出てくるか、日によって違いますので、集中していなければなりません。集中力の鍛錬にもなっています。</p> <p>脳科学が進歩し“幼児期の脳は柔軟性に富み 知りたがり 繰り返しが大好きで、無負担・無努力で吸収できる特長がある”ということが証明されています。英語の時間も短時間(10分)で継続しています。サイバードリームというすぐれた教材が開発されたので、いち早く取り入れて活用しています。その効果を高めるために、日本人の英語講師の先生にも年間30時間程度、英語の歌やゲームを中心に“英語に親しむ”ことを目的に学年に合わせて時間を設けています。</p>
Q	バスはどこまで迎えに来てくれるの...?
A	<p>さくら幼稚園の園児の送迎バスは路線を走るのではなく“園児の各家を一軒ずつ廻る”ことを運行の基本とする・・・このことを踏まえながらバスコースの作成をしています。“道路を横断しなくてもいいように”“できるだけ家の前で”等々、子供の安全を考えながらコースを作り、実際に運行して見て改善しなければならない時は、迅速に対応しています。</p> <p>また、“朝は家から乗り、帰りはおばあちゃんの家”“朝だけバス登園し、帰りはお迎えに”等々、利用方法に関しては柔軟に対応させていただきます。それから、さくら幼稚園の園児専用バスの座席は、子供の体型に合わせた設計となっていますので、安全性にも優れています。</p>
Q	まだ、オムツがとれず、着替えも心配...幼稚園に入れて大丈夫がしら...?
A	<p>トイレの自立は、環境や個人差が大きいので心配ありません。当初、2・3歳児クラスは何人かオムツをはずせずに通園していますが、お友達と一緒にトイレに行ったり、自立している子の真似をしたり、集団生活の中で、徐々にはずせるようになります。</p> <p>また、先生方も、一人一人の状態に合わせて無理のないよう援助(トイレトレーニング)していきます。家庭とよく連携をとりながら子供の成長に合わせて手助けしていきますので、心配はいりません。</p> <p>着替えに関しては、体力作りが始まると、乾布まさつで衣服の着脱をします。その時に、ボタンをはずしたり、ズボンを脱いだり、衣服をたたんだりということを毎日行ないます。その毎日の体験の中で、お家の方がびっくりされるほど、衣服の着脱と薄着習慣がしっかりと身に付いていきます。毎日の「継続」は、子供たちの日常のしつけの中でとても大切なことですね。</p> 